

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<8週> インフルエンザ 前週(2月14日～2月20日)の定点当たり報告数13.9に比べ、今週は8.4となっており3週連続で減少 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ流行状況> 2000年第8週(2月21日～2月27日) 現在、報告患者総数は38,096件で、学校での患者数・欠席者数とともに先週より更に減少している



病原体情報
P.5

インフルエンザ A/ソ連型(H1N1)およびA/香港型(H3N2)ウイルス分離報告 / 感染性胃腸炎 SRSVは合計89件の検出報告



IASRからの速報
P.6-7

東京都内で発生したグリーンオリーブの塩漬けによるB型ボツリヌス食中毒事例



海外感染症情報
P.8

ハンタウイルス肺症候群 パナマ / マールブルグ病 コンゴ民主共和国 / レジオネラ症 英国サウスウェールズのホテル / 狂犬病のコントロールと予防の新しい方針 英国



感染症の話
P.9-11

ツツガムシ病
わが国で最も多いリケッチアによる感染症で、ダニの一種であるツツガムシによって媒介される



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(8週)
P.13-19

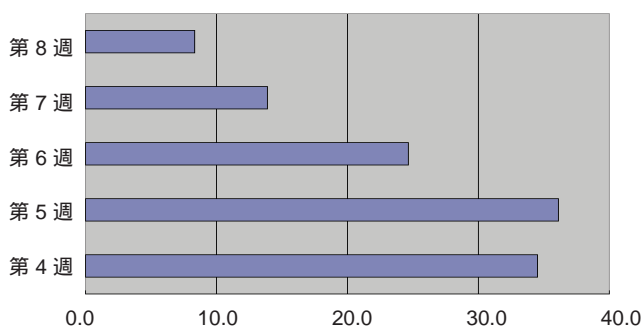


8週のデータ
P.20-27

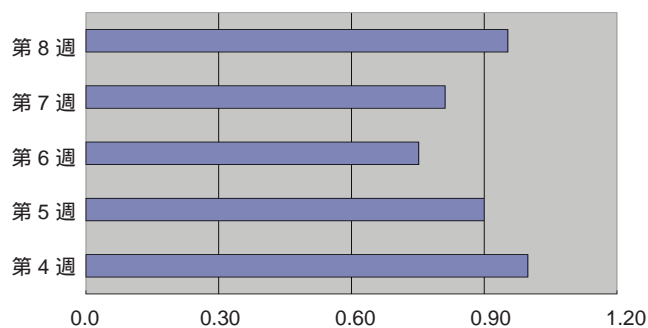
最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザは、前週の定点当たり報告数が13.9、今週は8.4となっており、3週連続で前週より減少している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎は前週より定点当たり患者報告数が増加に転じており、水痘の定点当たり報告数前はほぼ横ばいとなっている。麻疹患者の定点当たり報告数は3週続けて前週を上回り、大阪府、香川県、千葉県などで依然流行中とみられ、まとまった数の患者報告がある。麻疹は例年春にかけ流行曲線が上昇するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。

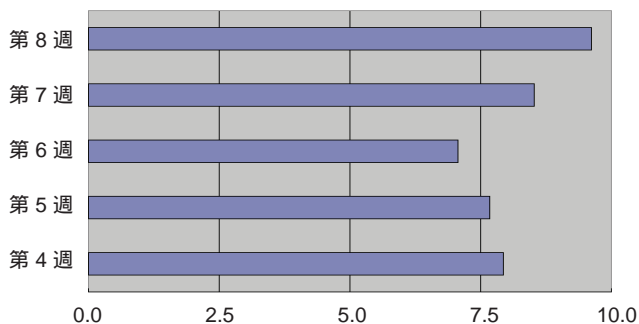
インフルエンザ



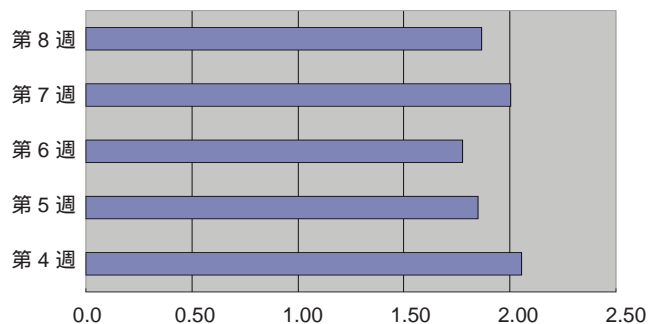
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



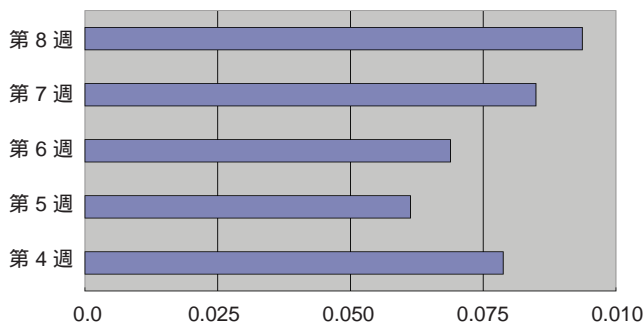
感染性胃腸炎



水痘



麻疹



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

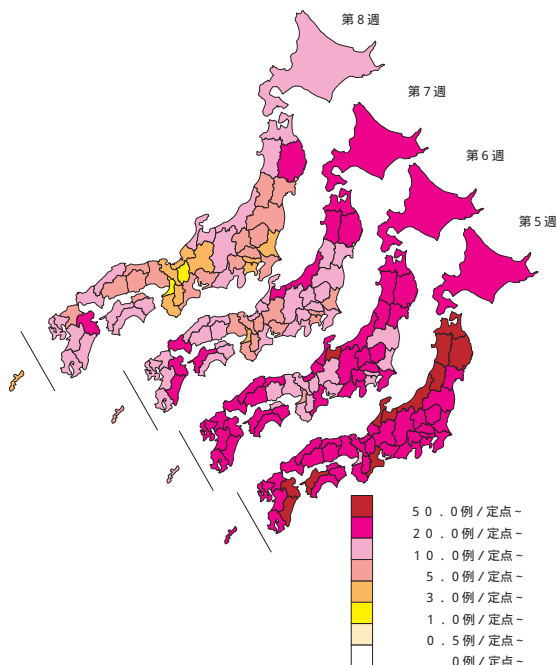
インフルエンザ流行状況

2000年第8週(2月21日 ~ 2月27日)現在、全国定点医療機関からの報告患者総数は38,096件で、定点当たり8.4と、先週より更に減少した。都道府県別でも、以下の地図グラフで示すように、定点当たり報告数が20以上のところはわずかに2件、関東や近畿地方では3以下に減少したところが見られるようになった。分離されたウイルスの型は、依然A/ソ連型とA/香港型が混在しており、現在までのところ、B型が増加してくる傾向は見られない。

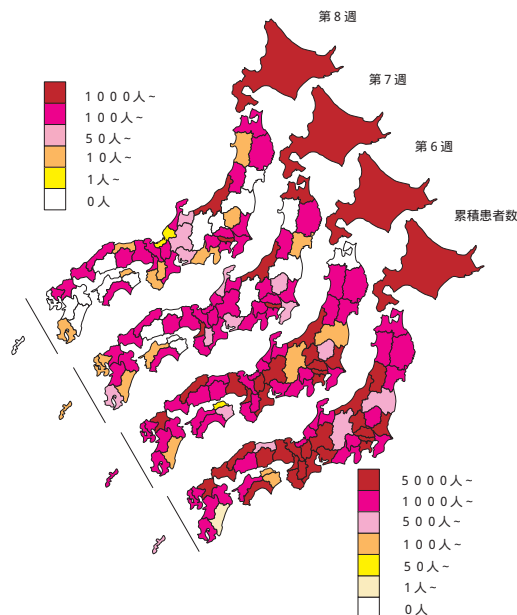
インフルエンザ様疾患発生報告(第15報、平成12年2月20日 ~ 2月26日)によると、この週の学校での患者数は23,240名、欠席者数は9,777名と前週より更に減少し、昨年同時期(患者数144,792名、欠席者数73,005名)と比較しても1/6以下となっている。総患者数は平成11年11月7日からの累計で487,893人(昨年同期694,598人)、総欠席者数は累計で252,483人(昨年同期339,453人)となっており、現時点では昨年より少ない報告数となっている。

今シーズンからインフルエンザ疾患関連死亡者数の迅速把握が開始され、平成12年3月2日までに厚生省に報告されている件数は、平成11年12月以降、累計195名である。年齢別内訳は、0歳0件、1~4歳13件、5~9歳5件、10~19歳3件、20~39歳9件、40~59歳15件、60~79歳54件、80歳以上96件で、60歳以上が77%を占めている。

発生動向調査
(8週時点)



インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)



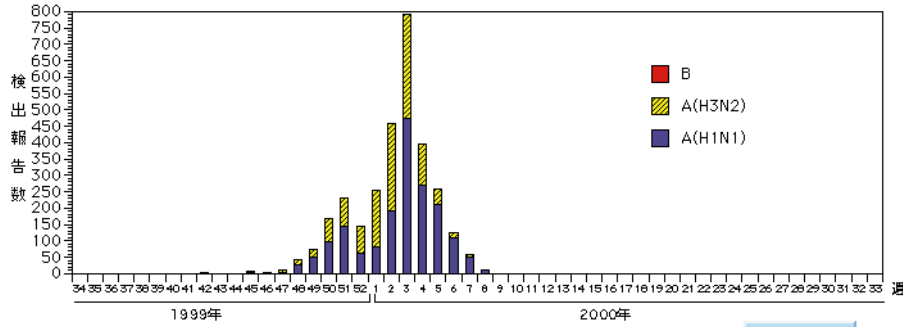


病原体情報

インフルエンザ

病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、2000年1月1日から3月3日までに分離されたA/香港型ウイルス(H3N2)は958件、A/ソ連型ウイルス(H1N1)は1,396件とソ連型の分離が多くなっている。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン(病原微生物検出情報:2000年3月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

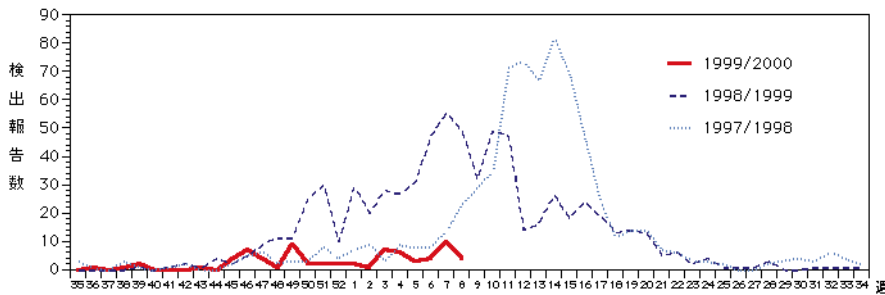


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎

2000年に入り3月2日までに新潟県、岩手県、栃木県、滋賀県、山梨県などから合計89件のSRSVの検出報告があった。SRSVの検出報告数は1999年第50週をピークに減少傾向にある。代わって、ロタウイルスの検出報告は徐々に報告数が増加傾向にある。2000年に入って大阪府、新潟県、岩手県、滋賀県、奈良県、大分県などから計37件の検出報告があった。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)
(病原微生物検出情報:2000年3月3日現在報告数)

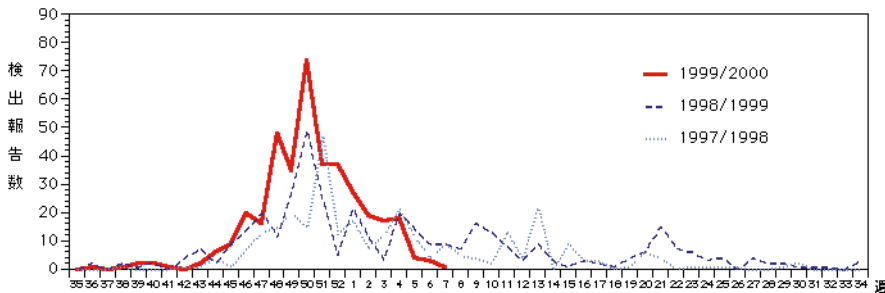


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)
(病原微生物検出情報:2000年3月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

東京都内で発生したグリーンオリーブの塩漬けによるB型ボツリヌス食中毒事例

1. 臨床

1998年8月に当科で経験したB型ボツリヌス中毒症の集団発生について報告する。

発端例は、64歳女性。1998年7月24日夕食先でオリーブの塩漬けを2個摂食し、翌25日嘔吐、下痢、26日より口渇、嚥下障害、28日には眼瞼下垂、複視、構音障害、嘔声、29日には羞明感も出現したため、当科を受診し、31日入院となった。入院時は、眼瞼下垂、眼球運動障害、嚥下障害、頸部を中心とした全身の筋力低下、呼吸困難、瞳孔異常、口腔粘膜の異常乾燥、排尿障害、麻痺性イレウスが認められた。当初、ギラン・バレー症候群を疑い、8月7日より3回免疫吸着療法を行い、眼瞼下垂、眼球運動障害の改善と、口渇、頸部筋力低下の軽度改善が認められた。この時点で、同様の症状を呈する複数人の存在が判明し、ボツリヌス中毒症を疑い、検査を東京都衛生研究所に依頼し、診断に至った。摂食より19日目に乾燥ボツリヌスウマ抗毒素A、B、E、F型を計2バイアル点滴投与し口渇、嚥下障害、瞳孔異常、眼球運動障害、頸部筋力低下のさらなる改善を認め、摂食より59日目に症状は軽快し、退院となった。

当科を受診したものは合計8名。年齢は22歳～67歳まで、潜伏期間は24～120時間、平均75時間で、初診は、発症後4～20日後、平均14日後であった。受診時の自覚症状としては、発症時の嘔吐、6例で下痢を伴っており、口渇、嚥下障害は全例で認められ、その他、眼瞼下垂、近見時複視、視力低下、便秘が多く認められた。初診時の神経学的所見では、嚥下障害は全例で見られ、他に眼瞼下垂、近見時の複視、近見反射障害など脳神経系の異常が多く、また、筋力低下、便秘も高頻度に認められた。なお、便からボツリヌス毒素が検出されたのは発端例と22歳の2症例で、血清中の毒素は、全例とも検出されなかった。

治療として、抗毒素を症状が残存した7例に投与した。抗A、B、E、F型をそれぞれ1万単位ずつ含有した乾燥ウマ抗毒素血清を、6例にそれぞれ1バイアル、2例に2バイアルを点滴投与した。投与は、摂食より12日～25日であったが、眼瞼下垂、散瞳、眼筋調節障害、対光反射障害等、眼に関する所見の改善が目立ち、その他、嚥下障害も半数で改善を認めた。その一方で、便秘、排尿障害には効果を認めなかった。なお、2バイアル投与した1症例で、抗毒素投与の6日後より皮疹、関節痛、咽頭発赤を認め、血清病と診断したが、ステロイドの経口投与により症状は2日間で消失した。

今回の症例を通して、摂食後の時間が経過し、一般には有効性がないとされる時期においても抗毒素療法は有用であり、試みるべきであると考えられた。

東京女子医科大学脳神経センター神経内科 松村美由起 岩田 誠

2. 検査結果

わが国のボツリヌス食中毒は年間数例の発生が認められ、その毒素型は90%以上がE型である。1998年8月に東京都内で発生が確認された事例は、イタリア産のグリーンオリーブ塩漬け(ビン詰め)が原因食品であり、わが国で3例めのB型ボツリヌス毒素による事例であった。

1. 症例および疫学的調査成績: 症例は上記1. 臨床を参照。ボツリヌス食中毒の疑いとして8月14日に東京女子医科大学より当研究所に検体が搬入された。

上記患者と同時に喫食した3名に軽度ではあるが同様な症状が発現しており、疫学調査を行ったところ、7月24日～8月6日までの当該飲食店利用者および当該店の従業員合計18名が確認された。患者の症状は1名が呼吸困難を伴った重症であったが、他の17名は複視、嚥下困難、眼瞼下垂、口渴等、中程度～軽症で経過した。患者の共通食はビン詰めグリーンオリーブの塩漬けのみであり、オリーブ1粒を食べて発症した患者もいた。当該ビン詰めは7月24日に開封されたものであった。

2. 細菌学的検査成績: 初発患者が店から自宅に持ち帰っていたオリーブの実、当該店に残っていたビン詰めオリーブの実と漬け汁に加え、仕入先の小売店等にあったオリーブ11件、その他の食品4件、厨房のふきとり材料や排水など9件、患者血清8名11件(1患者は時期をかえて4回検査)および糞便11件について細菌および毒素検査を実施した。その結果、患者血清からボツリヌス毒素は検出されなかったが、患者宅のオリーブ、当該店に残っていたビン詰めオリーブの実およびその漬け汁からB型ボツリヌス毒素およびタンパク分解性のB型ボツリヌス菌が検出され、患者糞便13検体中2検体からもB型ボツリヌス菌が検出されたことから、本事件はボツリヌス食中毒であることが判明した。なお、当該店に残っていた他の食品および環境材料からボツリヌス菌は検出されなかった。本中毒の原因となったオリーブのpHは5.4、水分活性は0.99であり、ボツリヌス菌の発育と毒素産生に十分な値であった。

3種類の制限酵素(SmaI、NruI、MluI)を用いたパルスフィールド・ゲル電気泳動法による分子疫学解析の結果、患者由来株とオリーブ由来株は同一であること、対象として当研究科に保存されていたB型ボツリヌス菌とは異なることが確認された。

3. 当該グリーンオリーブの塩漬けの製造過程: 輸入業者を通じて得た当該品の製造過程は、1)原料オリーブの選別(収穫から24時間以内)、2)苦み除去(約90日間ソーダおよび塩溶液浸漬)、3)洗浄、4) pH調整(pH5.0に安定化)、5)加熱(80℃)、6)空ビンの洗浄、殺菌、7)ビン詰め、8)調整液(塩、乳酸、クエン酸)添加、9)フタ締め、10)滅菌(105℃、170分間)、11)ラベル貼布、12)梱包であった。保管、発送時の条件は指定されておらず、通常、常温で行われていた。原因食品が輸入食品であったことから、製造のどの過程で製品がB型ボツリヌス菌により汚染されたか、また、どのような条件においてB型ボツリヌス毒素が産生されたかなど詳しい調査ができなかった。
4. 輸入オリーブのボツリヌス汚染実態調査: 輸入オリーブの塩漬けの安全性を確認する目的で、同一ロット4件、同一ブランド品14件を含む91検体の市販オリーブ(イタリア産43件、スペイン産31件、フランス産7件、アメリカ産5件、ギリシャ産2件、国内産2件およびブラジル産1件)について細菌検査を実施したが、これらの検体からボツリヌス菌は検出されなかった。

本事例から、野菜や果物等のビン詰めで充分加熱のできないものでは、ボツリヌス菌が生残り、菌が増殖すると毒素による汚染を受ける危険性があることが再認識された。

東京都立衛生研究所・微生物部 門間千枝 柳川義勢 諸角 聖
東京女子医大神経内科 松村美由起 岩田 誠
東京女子医大感染対策科 菊池 賢 志関雅幸 戸塚恭一

(病原微生物検出情報3月号-*IASR* vol.21 No.3, 2000-掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ハンタウイルス肺症候群 - パナマ

WHO / EMC 2000年3月2日

ハンタウイルス肺症候群による死者3名を含む疑い患者12名がLos Santos州LasTablasおよびGuarare地区から報告された。米国CDCにより、生存患者3名から採取された検体のIgMおよびIgGが陽性と診断された。予防対策として、市民に対し齧歯類やその排泄物への接触を避けるよう教育や情報提供が行われている。住人の血清学的検査が行われ、ウイルス検出のため齧歯類を捕獲し調査が行われている。当地域の臨床医たちに患者管理の教育が行われた。

マールブルグ病 - コンゴ民主共和国

WHO / EMC 2000年3月2日

コンゴ民主共和国のWatsa地域のマールブルグ出血熱に関して、南アフリカの国立ウイルス研究所(The National Institute for Virology, NIV)で、7例のマールブルグ出血熱を確認した。発症日は1999年12月末から2000年2月中旬にわたる。新たな6例は、すべて成人男性であり、3人が死亡した。

レジオネラ症 - 英国サウスウェールズのホテル

Eurosurv Weekly 2000年3月2日

レジオネラ症の2例が、2000年2月にウェールズのCDSCに報告された。2例ともレジオネラに暴露したと思われる期間に、サウスウェールズの同一ホテルを同じ日に訪れていた。1999年の7月と12月、2000年の1月にレジオネラ症を発症した3例もまた同じホテルを短時間訪れていた。5例は40~77歳(2名男性、3名女性)であり、2人が死亡した。原因は明らかになっていないが、ホテルのレストランの食品陳列ユニットに使用されている超音波加湿器が疑われている。

狂犬病のコントロールと予防の新しい方針 英国

CDR weekly 2000年2月25日

英国では、ヒトが最後に狂犬病と感染したのは1902年で、動物においても1922年を最後に発生していない。英国に動物を持ち込もうとする場合、許可証と6ヶ月の係留が必要であった。1998年、西ヨーロッパなど特定の国からの動物に関しては、マイクロチップを用いた検疫システム(出身国、ワクチンの接種状況などのデータを記録したマイクロチップをインプラントしたもの)であっても英国に狂犬病を輸入する危険性は上昇しないと答申があった。

そこで、西ヨーロッパからのネコとイヌ持ち込みと、オーストラリアなどからの盲導犬に関しては、2000年2月28日から、このシステムが試験的に導入される。



感染症の話

ツツガムシ病

わが国で最も多いリケッチアによる感染症で、ダニの一種であるツツガムシによって媒介される。ツツガムシ病はわが国に古くからある疾患で、東北、北陸の一部で夏に発生する重篤な風土病として知られており、「つつがなく」という言葉は「ツツガムシ病に罹らずに無事過ごす」ということから転じたといわれるほど恐れられていた。その後、ツツガムシ病の発生は減少し、一時はまれな疾患になったように見えたが、1970年後半から80年にかけて再び患者が増加し、発生地域も拡大した。現在では北海道、沖縄を除く各地で春から初夏および晩秋から冬にかけて年間数百人の患者が発生しており、死亡者も年によって数名報告されている。

疫学

東北・北陸で古くから存在していたツツガムシ病を古典型、その後発生するようになったツツガムシ病を新型と称しているが、古典型ツツガムシ病はアカツツガムシ(以下アカ)、新型ツツガムシ病はフトゲあるいはタテツツガムシ(以下フトゲあるいはタテ)によって媒介される。アカの生息地域は古典型ツツガムシ病の発生する地方に限局しており、現在では生息数も減少しているが、新型ツツガムシ病を媒介するフトゲは東北、北陸、山陰地方に、また、タテは房総、東海、九州地方に広く生息している。幼虫期のツツガムシ(写真1)は一時期だけ標的動物に吸着し組織液を吸入

写真1. ツツガムシ幼虫(走査電顕像)：
新潟大学医学部医動物学教室
関川弘雄先生提供

a) アカツツガムシ *Leptotrombidium (L.) akamushi*



a-1) 満腹幼虫の顎体部・背甲板 (×200)



a-2) 同左 背甲板 (×300)

b) フトゲツツガムシ *Leptotrombidium (L.) pallidum*



b-1) 未吸着幼虫 (×150)

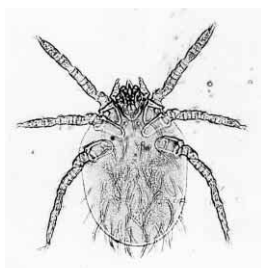


b-2) 満腹幼虫 (×150)

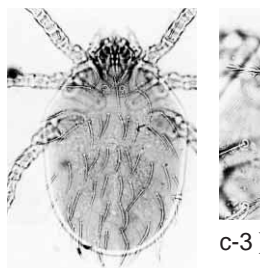


b-3) 背甲板 (×300)

c) タテツツガムシ *Leptotrombidium (L.) scutellare*



c-1) 全形 (×32)



c-2) 背甲板・胸背毛 (×63)



c-3) 背甲板 (×160)

するが、この時ツツガムシ体内のリケッチアが動物に注入される。しかし、ツツガムシがすべてツツガムシ病を媒介するわけではなく、リケッチアを保有しているいわゆる '有毒ツツガムシ' の刺咬によってのみ感染する。リケッチアは経卵感染であり、リケッチア保有動物を刺咬して有毒になることはない。有毒ツツガムシの生息場所は狭い範囲に局限されており、ヒトはその場所に立ち入ることによって感染する。

患者発生には地域性および季節的消長があり、東北・北陸では春と晩秋に、関東以西では晩秋に多発する。地域別にみると鹿児島、宮崎、秋田、新潟、大分などに多い。感染推定場所および感染時の作業内容をみると、山地で農作業をしているときに最も多く感染しているが、行楽あるいは山菜採りで感染する例もある。患者の年齢は農作業従事者の年齢を反映して60歳以上が大半を占めている。

ツツガムシ病は日本以外にアジア各地、オーストラリア北部で発生していることから、輸入感染症としても注目しておかなければならない。

病原体

リケッチアの一種であるオリエンチア・ツツガムシ (*Orientia tsutsugamushi*) が病原体で、細胞外では増殖できない偏性細胞寄生性の微生物である(写真2)。ツツガムシ病リケッチアはこれまで発疹チフスや紅斑熱などと同じリケッチア属であったが、新潟薬科大学多村憲教授らの研究により新しい属として独立した。本リケッチアには血清型があり、Kato, Karp, Gilliamが血清型名で表わされているが、わが国で分離された Kawasaki, Kuroki, Shimokoshiが新しい型として報告されている。

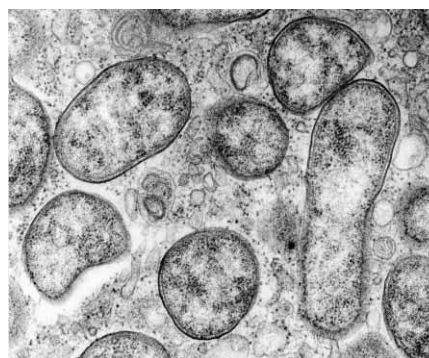


写真2: 新潟薬科大学微生物学研究室
浦上 弘先生提供

臨床症状

全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発病する。体温は段階的に上昇し40度にも達する。刺し口は皮膚の柔らかい隠れた部分(臀部、外陰部、大腿など)に多い。刺し口の所属リンパ節は発熱する前頃から次第に腫脹する。第3～4病日より不定型の発疹が出現するが、発疹は顔面、体幹に多く四肢は少ない。治療が適切に行われると早期に消退する。重症になると肺炎や脳炎症状を来す。臨床検査では白血球数の減少、CRPの上昇、肝機能の異常などが見られる。

病原診断

病原体分離は有熱期の患者の血液をマウスあるいは培養細胞に接種する。安全度レベル3の実験室で行う。マウスでは腹腔あるいは脾臓表面の塗抹標本をヒメネス染色あるいは蛍光抗体染色により分離の確認を行う。培養細胞では蛍光抗体染色により検出する。

遺伝子診断では*O.tsutsugamushi*特異蛋白をコードしている遺伝子のPCRにより検出する。また、感染ツツガムシ病リケッチアの型は2次PCRで型特異的蛋白をコードしている遺伝子を増幅し判定する。

血清診断でワイル・フェリックスはOXK陽性となるが、非特異的な反応であるため、陰性になる場合も多い。また、CFは特異性が高いが感度が低い。現在では間接蛍光抗体法あるいは間接免疫ペルオキシダーゼ法が用いられている。使用する抗原はKato, Karp, Gilliamのほか、検査

機関によってはKawasaki, Kurokiが加えられている。ペア血清で4倍以上上昇するかIgM抗体上昇により診断している。

注: 夏季に発生したツツガムシ病様患者で血清診断により本病が否定された場合は、日本紅斑熱の感染を疑う。

治療・予防

有毒ツツガムシの生息場所は限局していることから、患者の発生した場所への立ち入りを避けることが最も重要である。しかし、有毒ツツガムシの常在地が不明なことも多いことから、ツツガムシ病発生時期にダニが生息する山野に入った後は、入浴時にダニ吸着の有無をチェックする。ダニの刺咬を受けて10日前後に発熱、刺し口の付属リンパ節の腫脹などが認められたら、ツツガムシ病を疑う などの注意を怠らない。

早期にツツガムシ病を疑い適切な抗菌薬を投与することが大切で、テトラサイクリン系抗菌薬が最も有効で、合成ペニシリン、セフェム系抗菌薬などは無効である。

感染症新法の中でのツツガムシ病の取扱い

ツツガムシ病は、第4類の全数届出疾患に定められており、診断した医師は診断から7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下のとおりである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出
 - 例: 血液からの病原体の分離など
- ・病原体の遺伝子の検出など
 - 例: PCRなど
- ・病原体に対する抗体の検出
 - 例: 血清からの間接蛍光抗体法あるいは間接免疫ペルオキシダーゼ法で抗体価の4倍以上の上昇か、IgM抗体上昇など

(国立感染症研究所 ウイルス第一部リケッチアクラミジア室 萩原敏且)



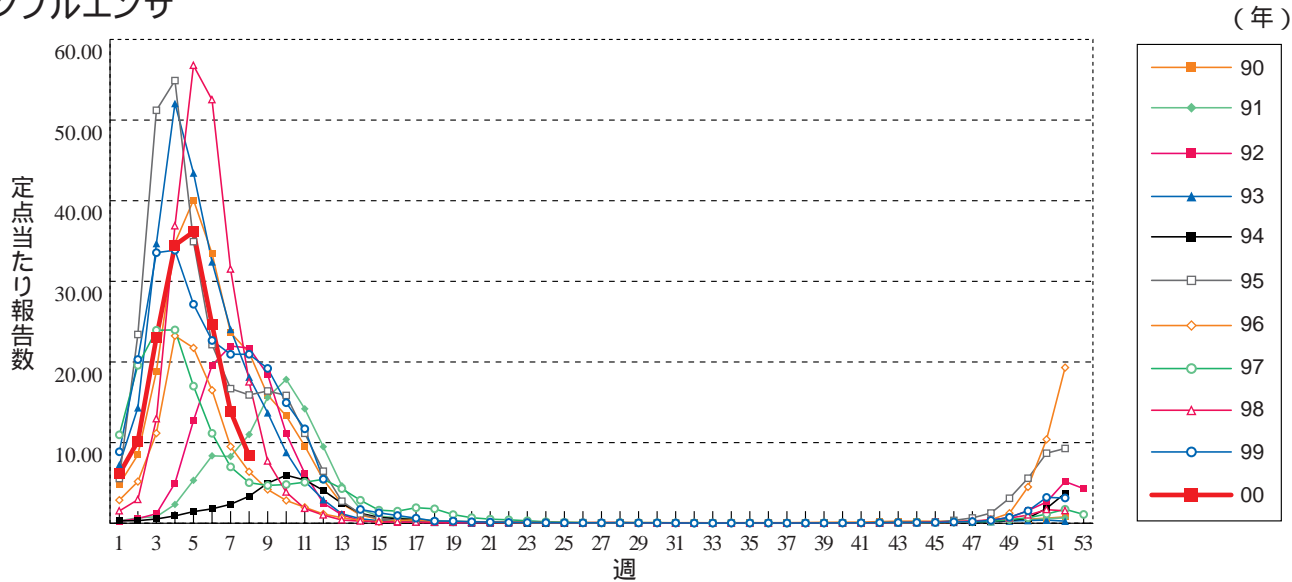
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

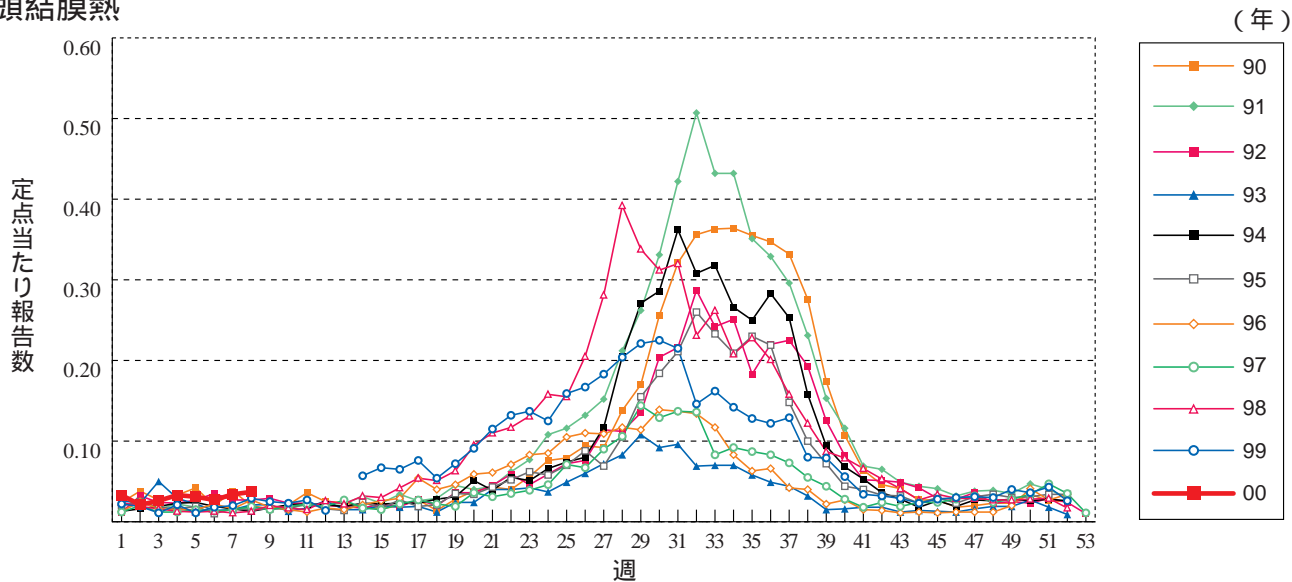
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(8週)

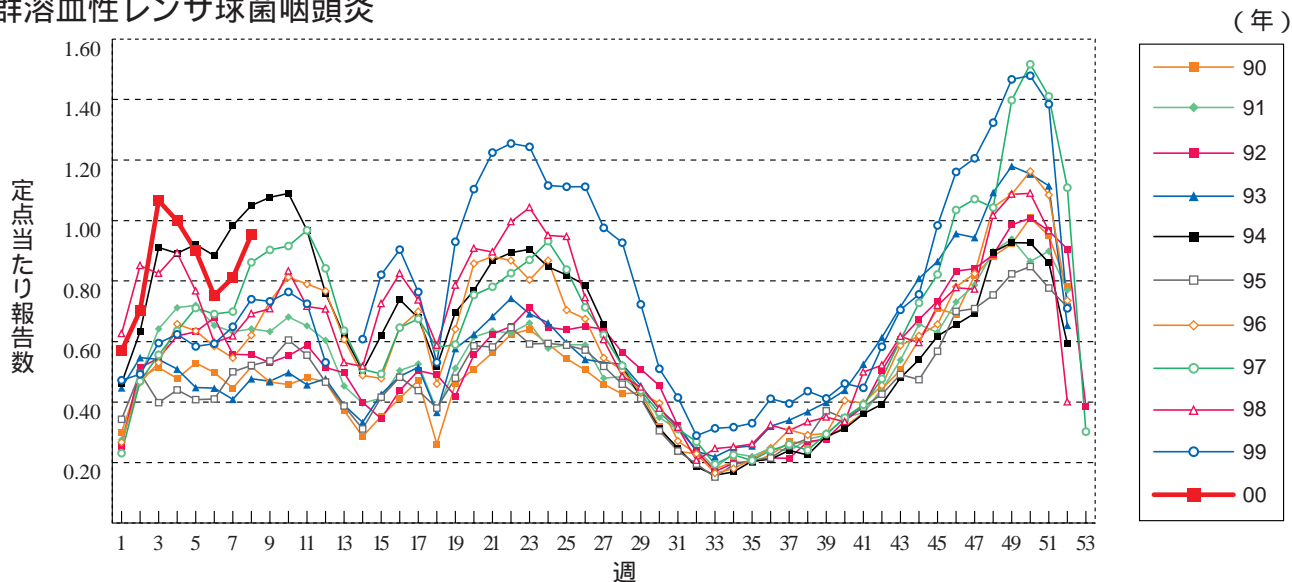
インフルエンザ



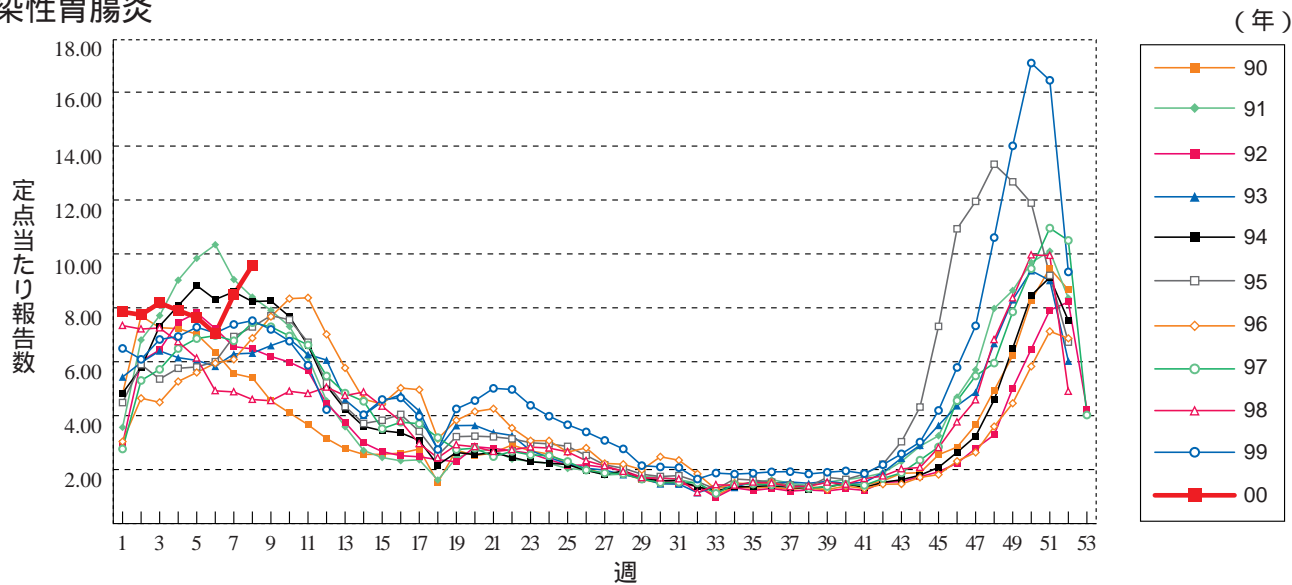
咽頭結膜熱



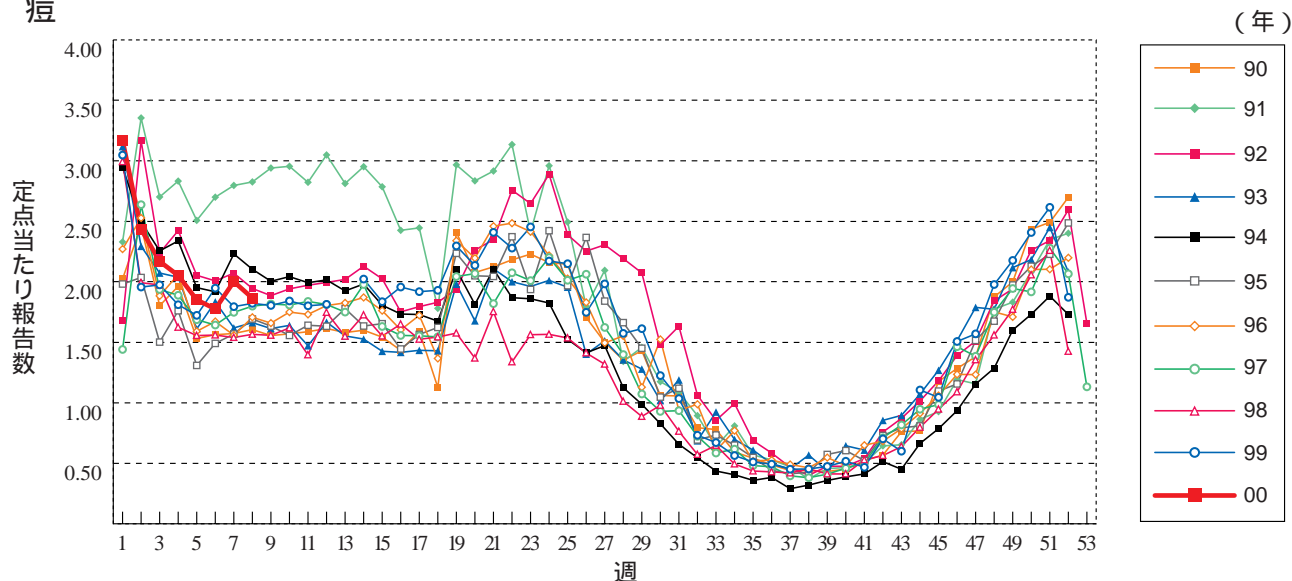
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



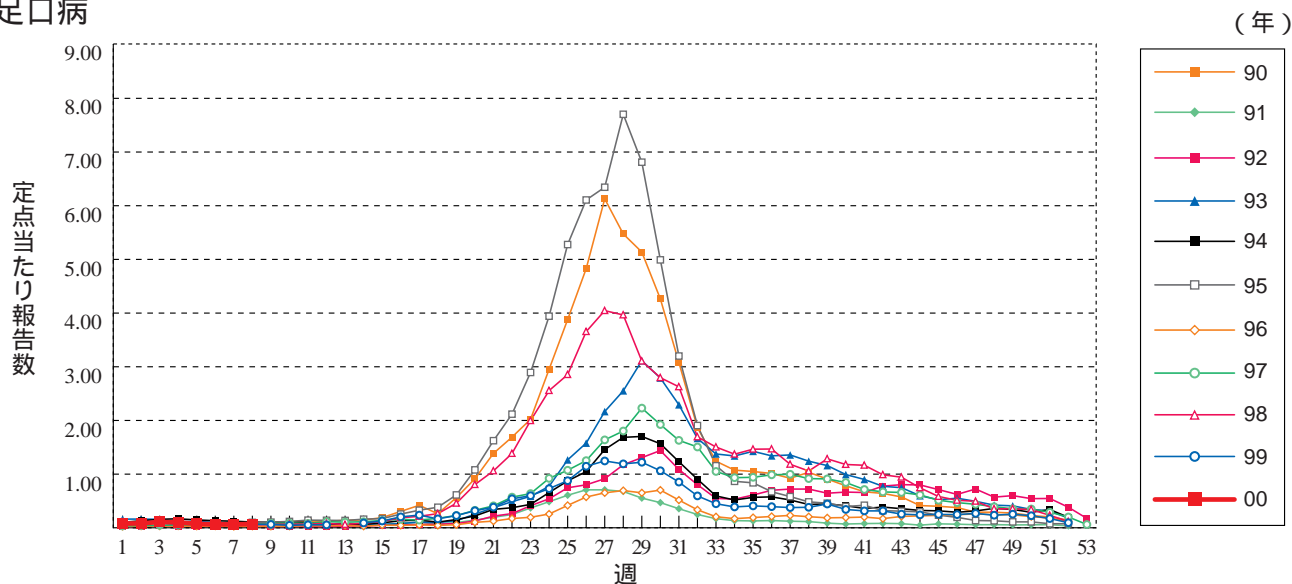
感染性胃腸炎



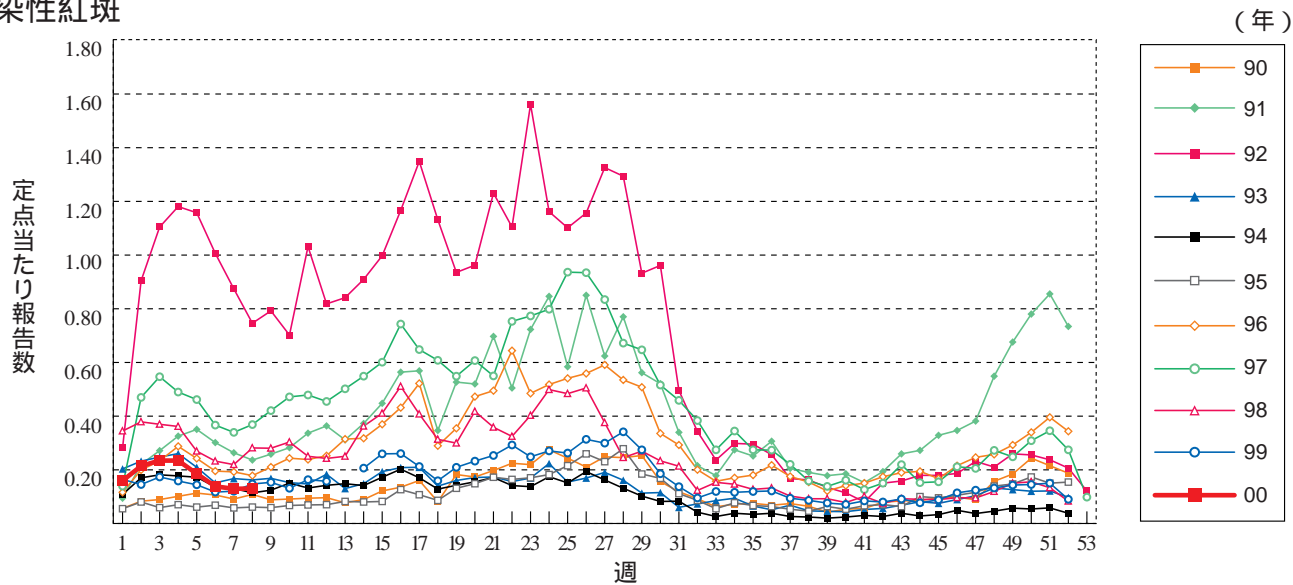
水痘



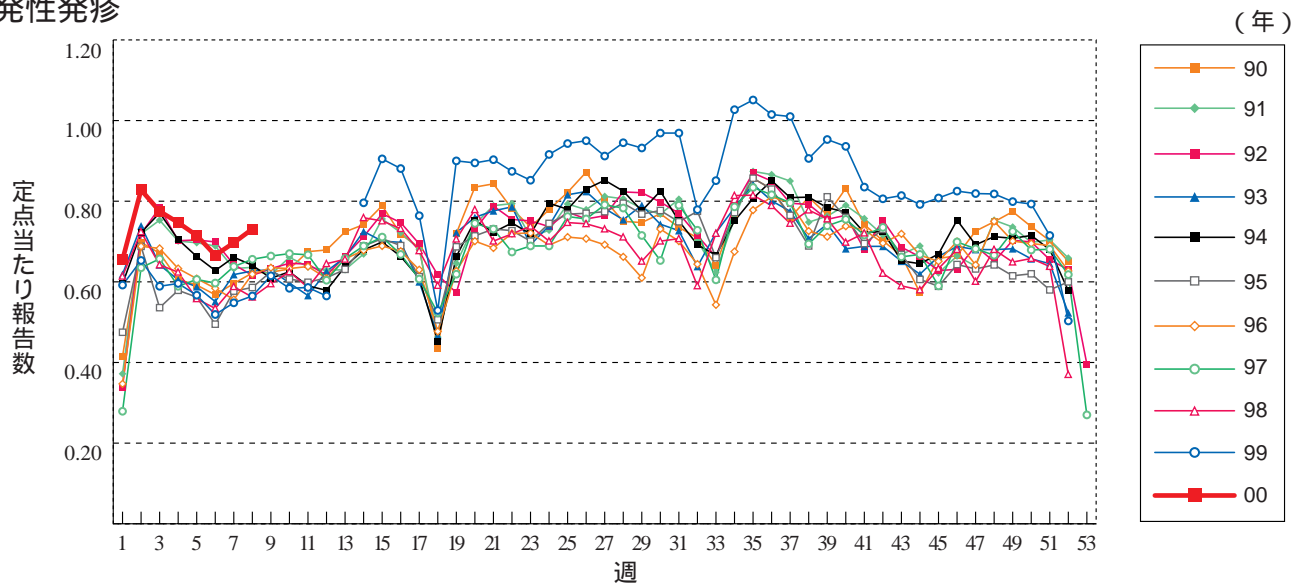
手足口病



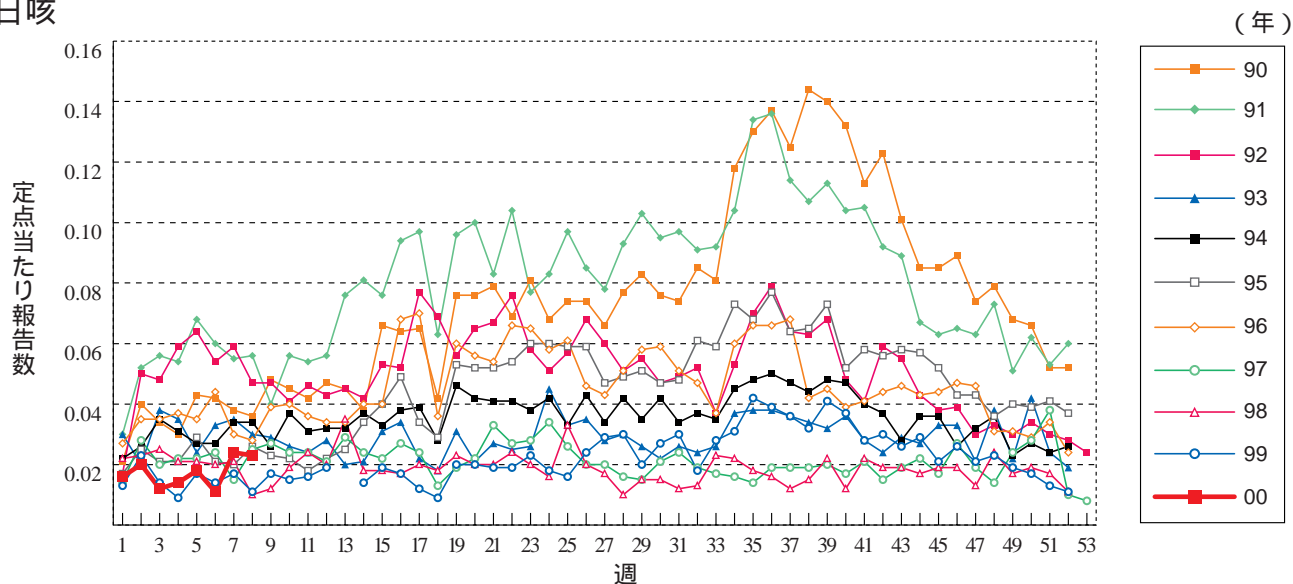
伝染性紅斑



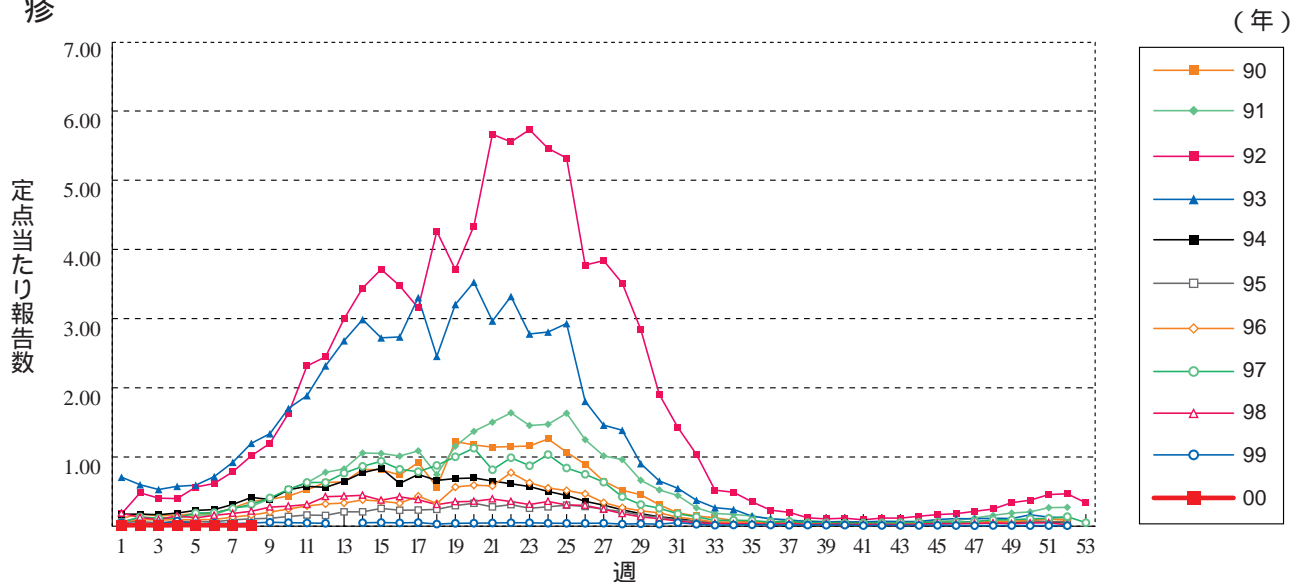
突発性発疹



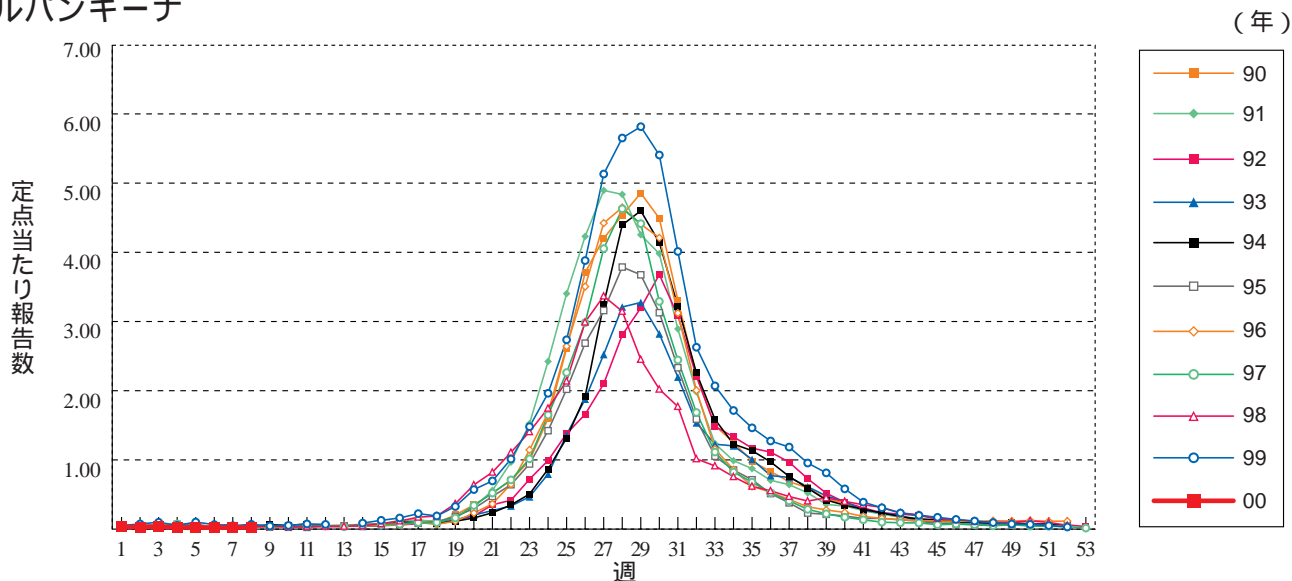
百日咳



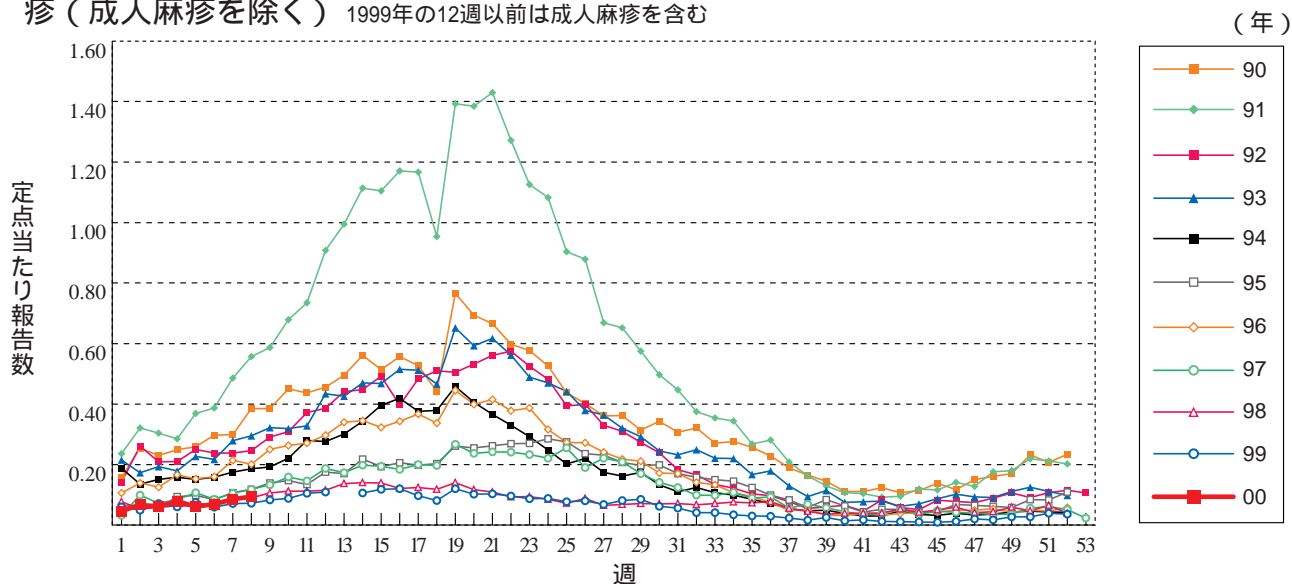
風 疹



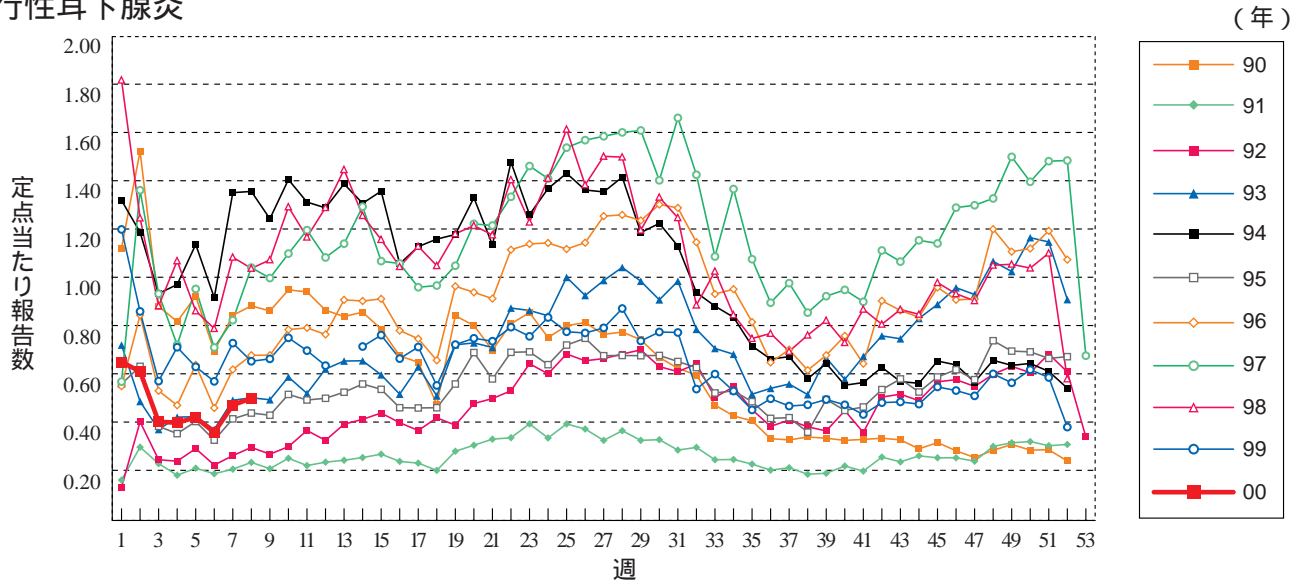
ヘルパンギーナ



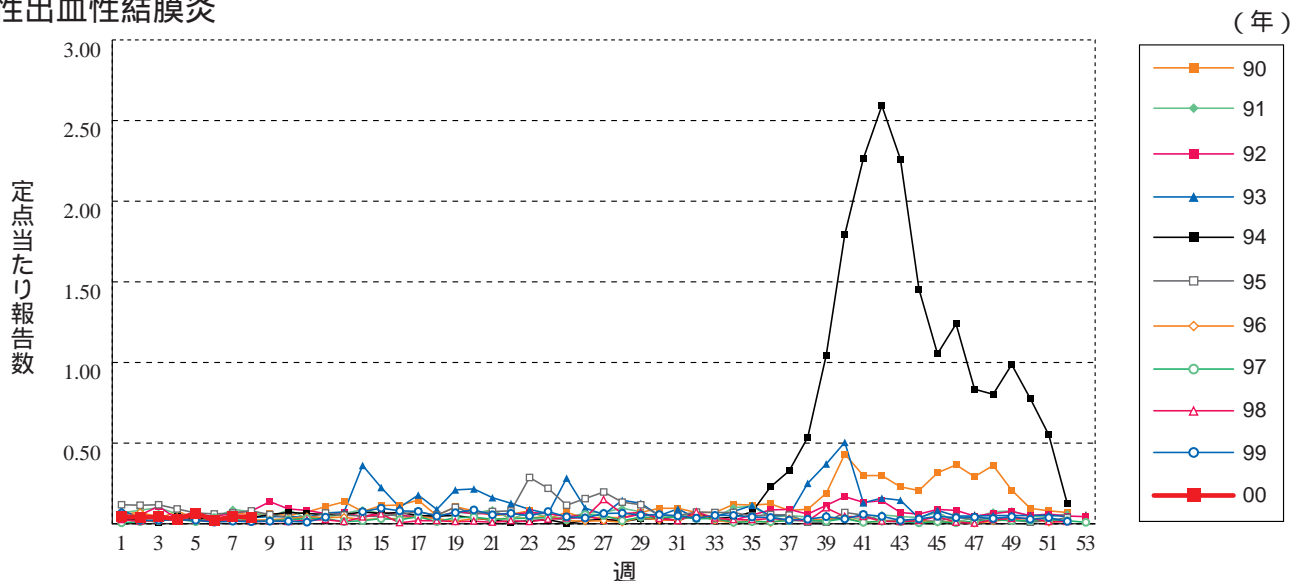
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



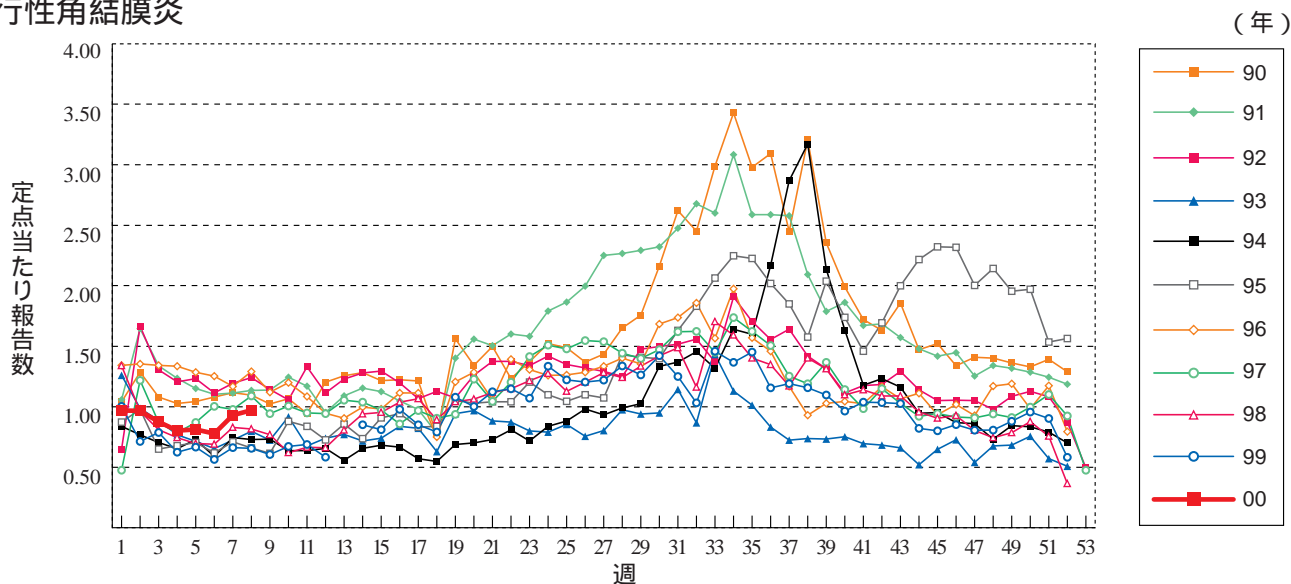
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

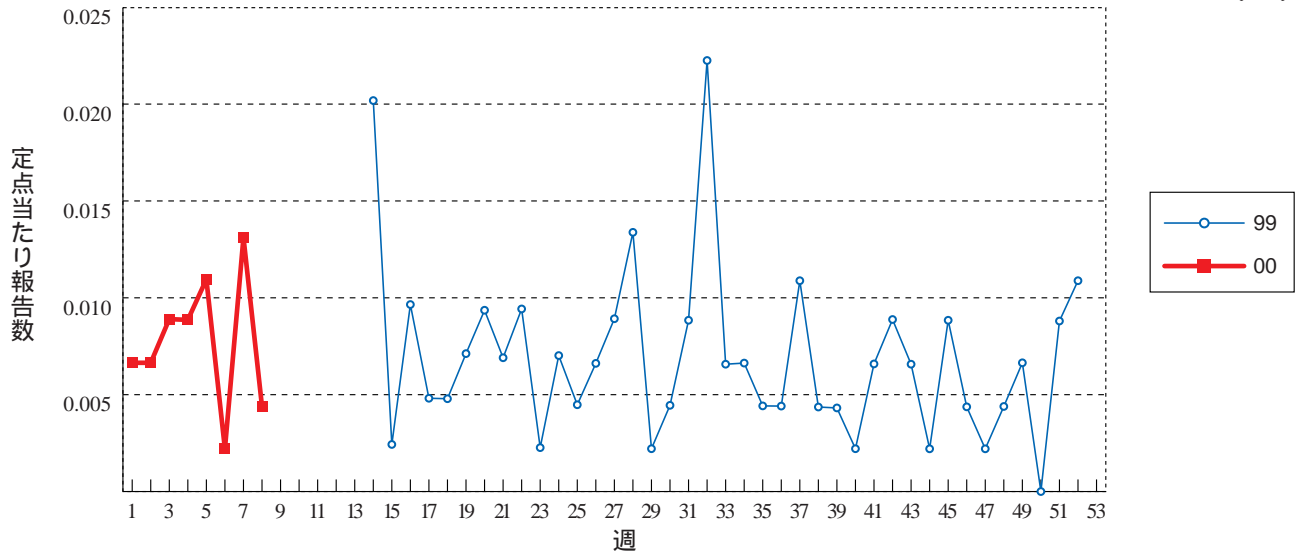


流行性角結膜炎



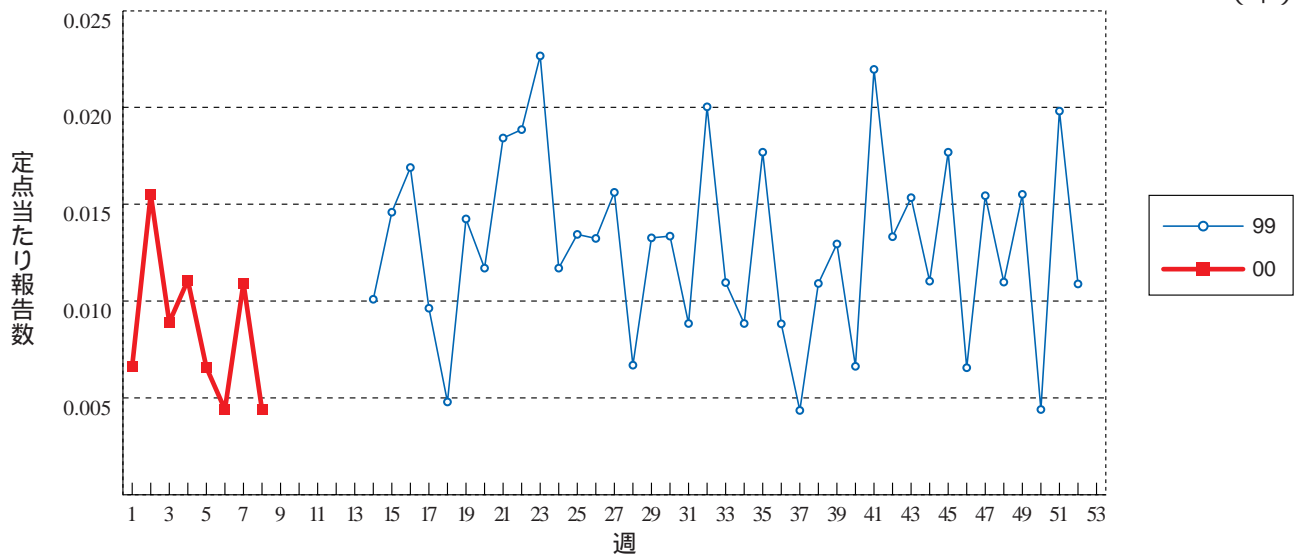
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



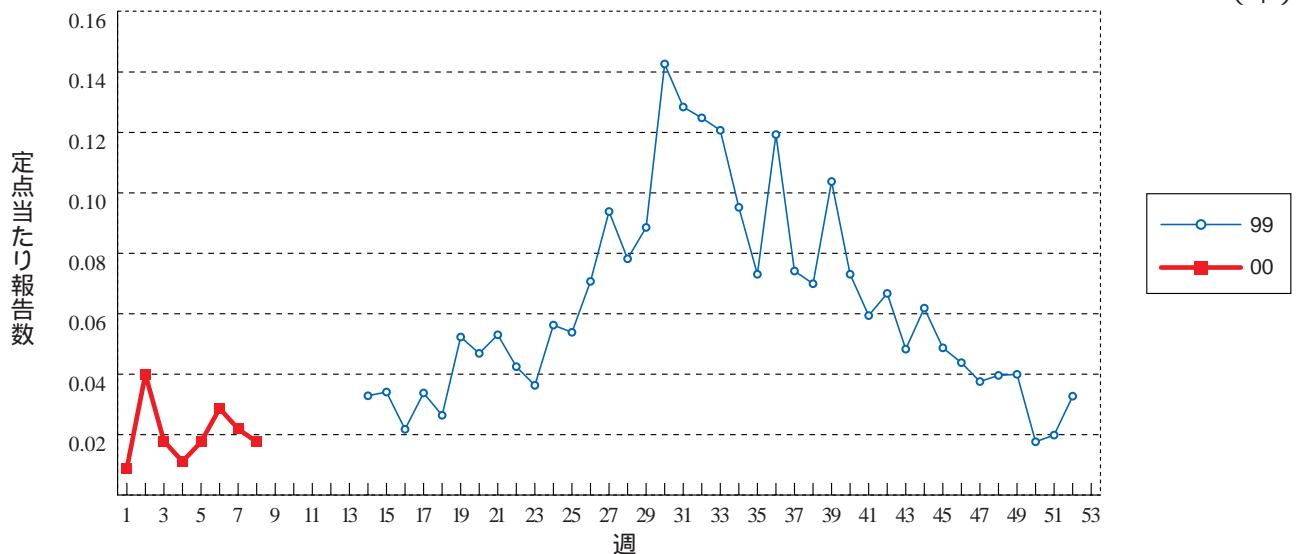
細菌性髄膜炎

(年)



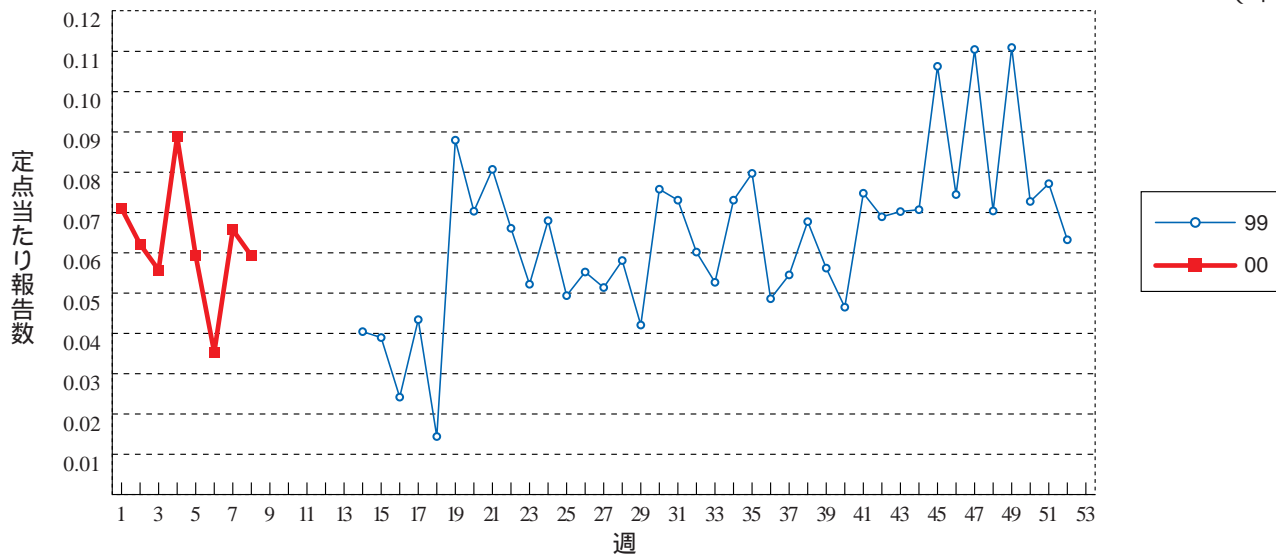
無菌性髄膜炎

(年)



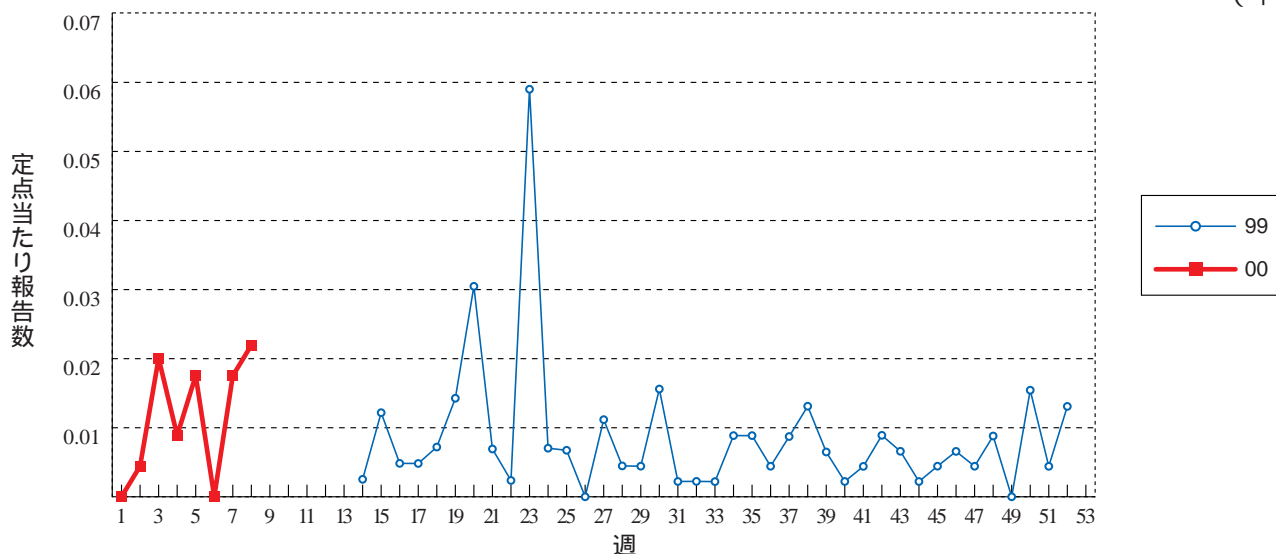
マイコプラズマ肺炎

(年)



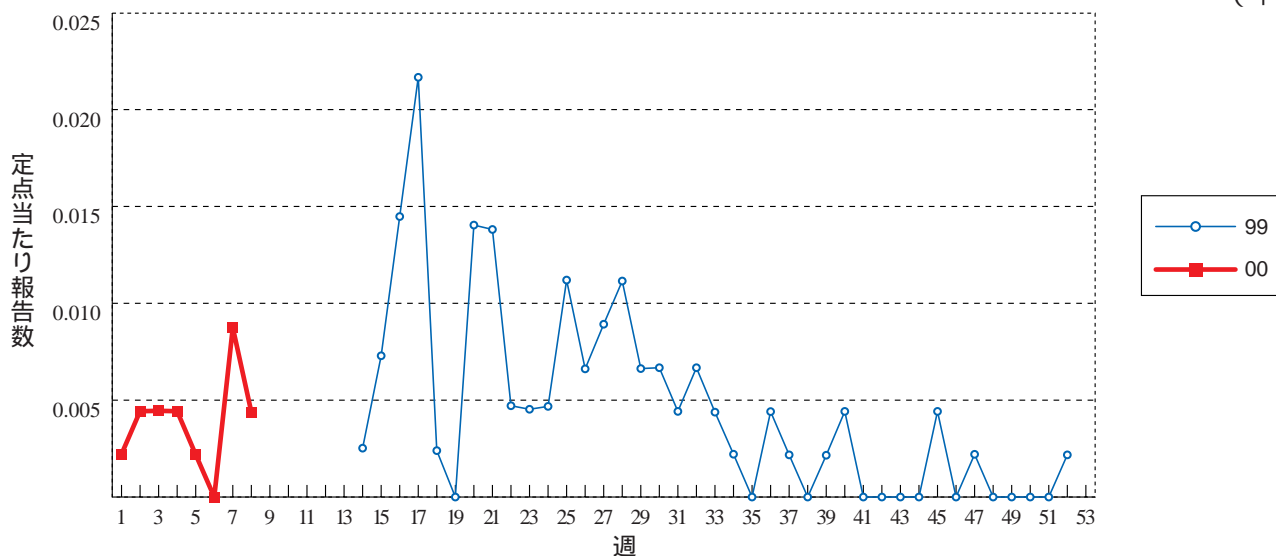
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





8週のデータ

注) 表中の報告数は3月3日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年8週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	12	90	2	8	-	1		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	21	-	2	-	-		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	1	-	-		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	1	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年8週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	14	121	3	44	-	-	-	-	-	2	-	-	9	172
北海道	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	2	9	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
神奈川県	-	-	-	-	4	9	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
静岡県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	-	6	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
兵庫県	-	-	-	-	2	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19
奈良県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
高知県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年8週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	16	3	9	5	70	-	-	-	8	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	3	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	7	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	3	28	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	3	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年8週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	5	-	-	-	-	5	51	-	-	-	-	-	-	-	-	5	104
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	2	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
神奈川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年8週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	13
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年8週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	38096	8.36	108	0.04	2810	0.95	28319	9.61	5497	1.87	207	0.07	382	0.13	2154	0.73	68	0.02
北海道	4281	18.78	1	0.01	161	1.12	434	3.01	177	1.23	1	0.01	30	0.21	82	0.57	2	0.01
青森県	760	11.88	-	-	27	0.66	183	4.46	59	1.44	2	0.05	5	0.12	21	0.51	-	-
岩手県	1243	20.05	-	-	25	0.66	205	5.39	63	1.66	-	-	2	0.05	25	0.66	1	0.03
宮城県	774	7.98	1	0.02	80	1.36	1059	17.95	114	1.93	1	0.02	15	0.25	58	0.98	3	0.05
秋田県	687	12.49	2	0.06	43	1.23	432	12.34	36	1.03	5	0.14	4	0.11	22	0.63	-	-
山形県	399	8.49	2	0.07	68	2.34	313	10.79	91	3.14	-	-	11	0.38	17	0.59	4	0.14
福島県	427	5.34	2	0.04	22	0.46	423	8.81	111	2.31	1	0.02	19	0.40	36	0.75	1	0.02
茨城県	540	4.78	-	-	62	0.86	414	5.75	127	1.76	3	0.04	9	0.13	44	0.61	1	0.01
栃木県	604	9.01	1	0.02	43	0.96	306	6.80	81	1.80	3	0.07	20	0.44	41	0.91	-	-
群馬県	745	7.45	3	0.05	73	1.18	451	7.27	126	2.03	4	0.06	11	0.18	35	0.56	2	0.03
埼玉県	1552	8.72	2	0.02	180	1.61	1253	11.19	186	1.66	1	0.01	9	0.08	91	0.81	9	0.08
千葉県	1561	7.43	-	-	193	1.44	1436	10.72	268	2.00	7	0.05	15	0.11	94	0.70	3	0.02
東京都	775	4.35	7	0.05	51	0.36	1089	7.67	146	1.03	3	0.02	18	0.13	68	0.48	1	0.01
神奈川県	1351	4.04	8	0.04	178	0.86	1827	8.87	296	1.44	5	0.02	36	0.17	189	0.92	1	0.00
新潟県	1288	13.01	9	0.15	127	2.12	606	10.10	118	1.97	-	-	27	0.45	57	0.95	-	-
富山県	643	13.40	3	0.10	42	1.45	238	8.21	42	1.45	1	0.03	2	0.07	25	0.86	-	-
石川県	546	11.38	-	-	28	0.97	379	13.07	70	2.41	1	0.03	-	-	15	0.52	-	-
福井県	150	4.69	-	-	36	1.64	420	19.09	58	2.64	3	0.14	-	-	20	0.91	-	-
山梨県	372	9.07	1	0.04	13	0.52	122	4.88	12	0.48	-	-	2	0.08	8	0.32	-	-
長野県	918	11.33	2	0.04	64	1.23	567	10.90	74	1.42	3	0.06	16	0.31	41	0.79	-	-
岐阜県	367	4.37	1	0.02	63	1.19	341	6.43	72	1.36	1	0.02	2	0.04	23	0.43	2	0.04
静岡県	1429	10.43	1	0.01	81	0.94	1208	14.05	289	3.36	2	0.02	5	0.06	94	1.09	3	0.03
愛知県	967	5.01	7	0.04	178	0.98	1220	6.70	358	1.97	5	0.03	15	0.08	128	0.70	2	0.01
三重県	564	7.83	1	0.02	50	1.11	737	16.38	78	1.73	4	0.09	1	0.02	67	1.49	3	0.07
滋賀県	140	2.69	-	-	11	0.34	140	4.38	21	0.66	2	0.06	3	0.09	10	0.31	-	-
京都府	455	3.61	1	0.01	56	0.74	703	9.25	68	0.89	-	-	2	0.03	41	0.54	1	0.01
大阪府	798	2.93	18	0.10	85	0.45	1371	7.25	257	1.36	35	0.19	9	0.05	116	0.61	6	0.03
兵庫県	1014	5.12	4	0.03	89	0.70	1229	9.60	305	2.38	4	0.03	6	0.05	95	0.74	3	0.02
奈良県	243	4.42	1	0.03	17	0.49	357	10.20	57	1.63	3	0.09	1	0.03	26	0.74	2	0.06
和歌山県	180	3.53	3	0.09	24	0.75	245	7.66	78	2.44	-	-	4	0.13	27	0.84	1	0.03
鳥取県	255	8.79	-	-	97	5.11	265	13.95	42	2.21	1	0.05	4	0.21	20	1.05	-	-
島根県	464	12.21	2	0.08	28	1.12	159	6.36	39	1.56	-	-	2	0.08	13	0.52	2	0.08
岡山県	492	5.86	2	0.04	25	0.46	504	9.33	89	1.65	1	0.02	2	0.04	12	0.22	1	0.02
広島県	604	5.08	12	0.16	37	0.49	978	13.04	124	1.65	6	0.08	8	0.11	49	0.65	2	0.03
山口県	962	13.74	-	-	51	1.04	759	15.49	64	1.31	7	0.14	-	-	43	0.88	-	-
徳島県	411	10.82	-	-	12	0.52	217	9.43	62	2.70	2	0.09	-	-	21	0.91	-	-
香川県	416	8.16	2	0.06	13	0.41	273	8.53	89	2.78	2	0.06	6	0.19	31	0.97	-	-
愛媛県	801	12.52	-	-	27	0.69	573	14.69	88	2.26	4	0.10	2	0.05	51	1.31	-	-
高知県	686	14.00	-	-	17	0.55	163	5.26	58	1.87	-	-	3	0.10	12	0.39	-	-
福岡県	1393	9.29	-	-	70	0.93	1381	18.41	162	2.16	10	0.13	14	0.19	72	0.96	6	0.08
佐賀県	474	12.15	-	-	38	1.65	317	13.78	87	3.78	1	0.04	6	0.26	27	1.17	-	-
長崎県	787	11.24	-	-	17	0.39	334	7.59	70	1.59	2	0.05	2	0.05	22	0.50	-	-
熊本県	900	11.11	2	0.04	36	0.73	531	10.84	115	2.35	30	0.61	8	0.16	48	0.98	-	-
大分県	1219	21.02	3	0.08	49	1.36	567	15.75	81	2.25	6	0.17	12	0.33	32	0.89	3	0.08
宮崎県	1136	18.93	-	-	76	2.05	782	21.14	151	4.08	1	0.03	6	0.16	34	0.92	1	0.03
鹿児島県	1127	11.62	4	0.07	42	0.71	739	12.53	161	2.73	10	0.17	1	0.02	33	0.56	1	0.02
沖縄県	196	3.38	-	-	5	0.15	69	2.03	177	5.21	24	0.71	7	0.21	18	0.53	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年8週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	74	0.03	276	0.09	1489	0.51	24	0.04	600	0.97	2	0.00	2	0.00	8	0.02
北海道	2	0.01	1	0.01	6	0.04	80	0.56	-	-	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	33	0.80	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	12	0.32	10	0.26	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	5	0.08	4	0.07	8	0.14	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	21	0.60	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	13	0.45	-	-	4	0.50	1	0.11	-	-	-	-
福島県	2	0.04	2	0.04	13	0.27	7	0.15	1	0.08	12	1.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	1	0.01	23	0.32	14	0.19	-	-	63	3.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	3	0.07	-	-	14	0.31	2	0.04	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	74	1.19	2	0.14	28	2.00	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	1	0.01	7	0.06	5	0.04	62	0.55	1	0.04	22	0.85	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	2	0.01	24	0.18	87	0.65	2	0.06	40	1.14	-	-	1	0.08	-	-
東京都	6	0.04	10	0.07	14	0.10	44	0.31	-	-	23	1.64	-	-	-	-	-	-
神奈川県	4	0.02	2	0.01	18	0.09	113	0.55	2	0.05	63	1.50	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	-	-	-	-	24	0.40	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	8	0.28	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	-	-	-	-	33	0.63	1	0.10	18	1.80	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	6	0.11	21	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	3	0.03	59	0.69	-	-	11	0.55	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	3	0.02	5	0.03	61	0.34	2	0.06	19	0.54	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	-	-	-	-	37	0.82	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	2	0.06	-	-	5	0.16	7	0.22	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	4	0.05	2	0.03	26	0.34	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	6	0.03	55	0.29	49	0.26	4	0.08	27	0.52	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	3	0.02	7	0.05	112	0.88	-	-	44	1.26	-	-	-	-	2	0.14
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	21	0.60	-	-	7	0.78	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	10	0.31	7	0.22	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	10	0.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	12	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	1	0.02	3	0.06	28	0.52	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	0.01	2	0.03	56	0.75	2	0.10	24	1.20	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	-	-	1	0.02	84	1.71	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.04	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	3	0.09	1	0.03	29	0.91	28	0.88	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	10	0.26	-	-	3	0.43	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	2	0.06	37	1.19	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	3	0.04	2	0.03	54	0.72	-	-	15	0.88	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	13	0.57	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	12	0.27	5	0.63	12	1.50	-	-	1	0.08	1	0.08
熊本県	1	0.02	5	0.10	-	-	29	0.59	1	0.11	10	1.11	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	4	0.11	7	0.19	15	0.42	-	-	10	2.00	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	43	1.16	-	-	17	4.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	-	-	1	0.02	16	0.27	-	-	11	1.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	3	0.09	1	0.03	6	0.18	-	-	7	0.70	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年8週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	27	0.06	10	0.02	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2	0.11
宮城県	4	0.33	7	0.58	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.11	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	4	0.67	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.80	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	2	0.22	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.17	-	-
高知県	1	0.14	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	2	0.25	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第8号 平成12年3月10日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhw.go.jp/>

< 厚生省 >

<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>

< 成田空港検疫所 >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。